



証券コード：2169




ものづくりの“心”をつたえる。

# 平成22年12月期 決算説明会

平成23年2月21日

CDS 株式会社

証券コード：2169



# 会社概要

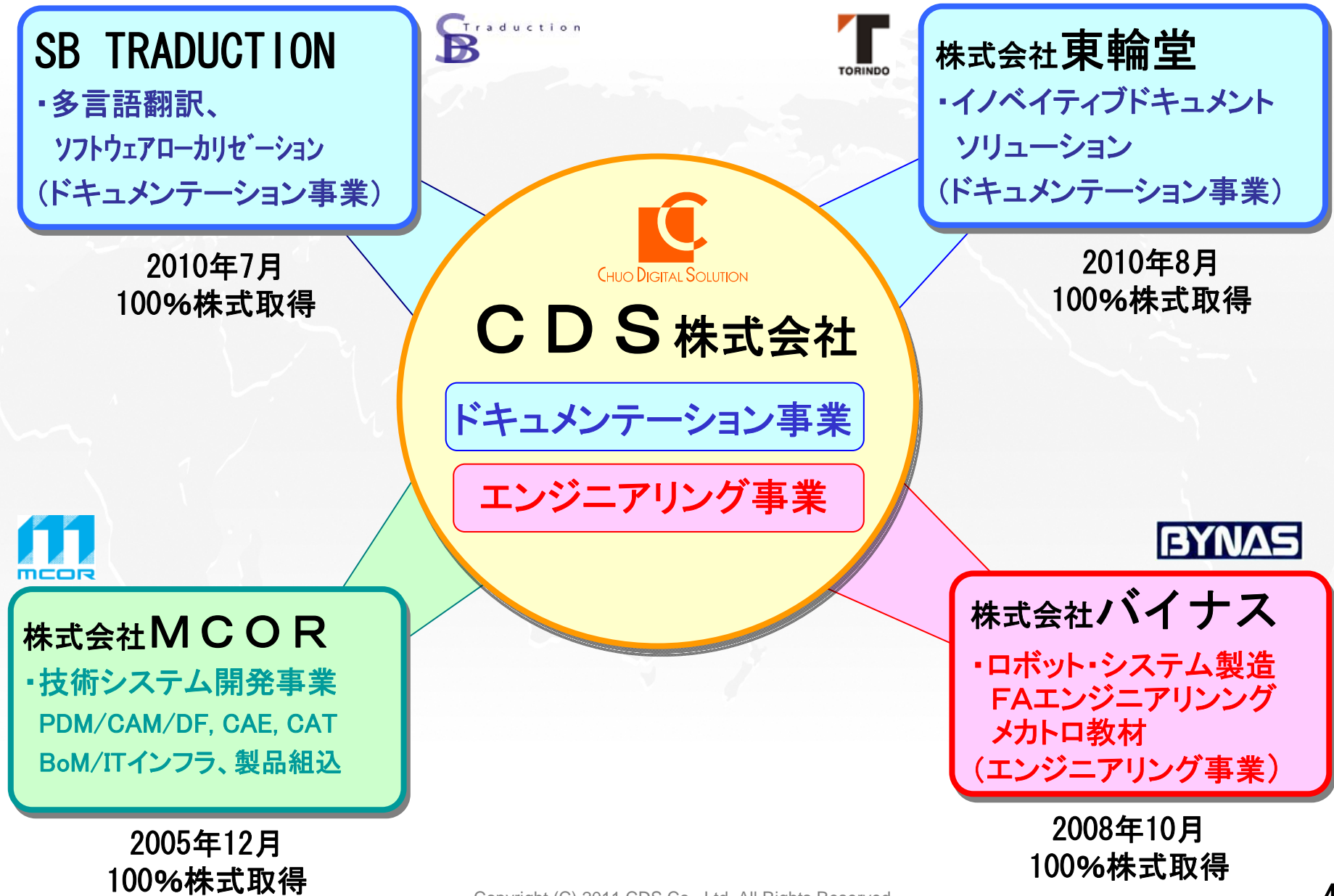
# 会社概要

- 社名 CDS株式会社 (CDS Co., Ltd.)
- 本社 愛知県岡崎市舞木町字市場46番地
- 代表者 代表取締役社長 芝崎晶紀
- 設立 昭和55年2月
- 資本金 893百万円(平成23年1月現在)
- 売上高 6,086百万円(平成22年12月期連結)
- 経常利益 424百万円(平成22年12月期連結、のれん336百万円償却後)
- 従業員数 610人(平成23年1月1日現在、連結)
- 主要業務
  - ドキュメンテーション事業**  
技術情報をベースとしたドキュメント類の制作及びこれに付随する事業
  - エンジニアリング事業**  
商品開発・生産技術分野における3D CADによる  
製品設計・設備設計等の支援事業  
ロボット・システム製造、FAエンジニアリング、メカトロ教材
  - 技術システム開発事業**  
コンピュータシステムの開発・運用及び企画・コンサルティング事業
- 拠点 本社(愛知県岡崎市)、東京支社、名古屋支社、関西支社、広島支社、松本支社
- 連結子会社 国内3社(株式会社MCO R、株式会社バイナス、株式会社東輪堂)  
海外1社(SAS SB TRADUCTION フランス、ドイツ)

# 沿革

- 1980年 2月 愛知県岡崎市に技術出版物専業会社として中央立体図株式会社を設立
- 1985年 4月 技術部を新設、専用工作機械設計業務を開始
- 1986年 2月 電算写植システム導入
- 1988年 8月 新社屋建設、電算写植部門を株式会社ティーピースとして分離独立
- 1989年 11月 名古屋営業所開設
- 1990年 9月 広島支社開設
- 1992年 7月 電子出版業務を開始
- 1994年 4月 3D画像処理ワークステーション導入
- 9月 奈良営業所開設
- 1998年 6月 3D-CADシステム導入、宇都宮出張所開設
- 2000年 10月 松本支社開設
- 2005年 1月 株式会社ティーピースと合併、社名をCDS株式会社に変更
- 4月 東京支社開設
- 12月 株式会社エムエムシーコンピュータリサーチ（現「株式会社MCOR」）の全株式取得
- 2006年 4月 資本金を4億9,500万円に増資
- 2007年 12月 大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場
- 2008年 1月 資本金を8億9,300万円に増資、フランスに欧州事務所開設
- 3月 関西支社開設
- 10月 株式会社バイナスの全株式取得
- 11月 SB TRADUCTION社（フランス）の51%株式取得
- 2010年 7月 SB TRADUCTION社（フランス）の全株式取得
- 8月 株式会社東輪堂の全株式取得
- 10月 JASDAQとヘラクレスの市場統合により、JASDAQスタンダードに市場区分変更

# CDSグループ





# 決算概要

# H22年12月期 連結決算の状況

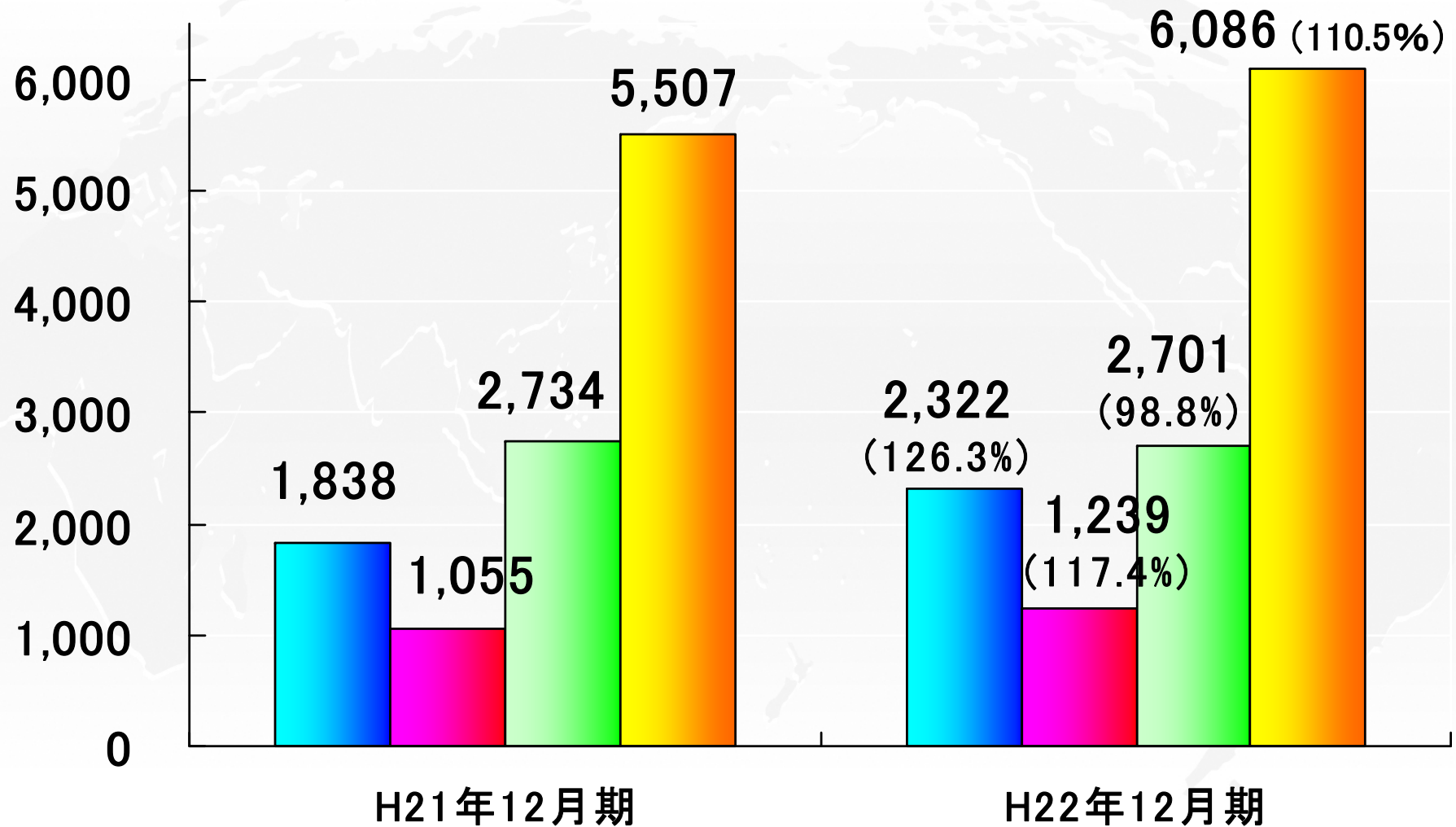
(百万円)

	H21年12月期	H22年12月期	増減(対前年比)
売上高	5,507	6,086	579 (110.5%)
売上総利益	1,416	1,852	435 (130.7%)
営業利益	38 ※372	381 ※717	343 (1002.6%) ※191.7%
経常利益	141 ※475	424 ※761	283 (300.7%) ※159.3%
税引後 当期純利益	-59 ※274	112 ※448	- ※171 161.7%

※印は、のれん償却前の数値。

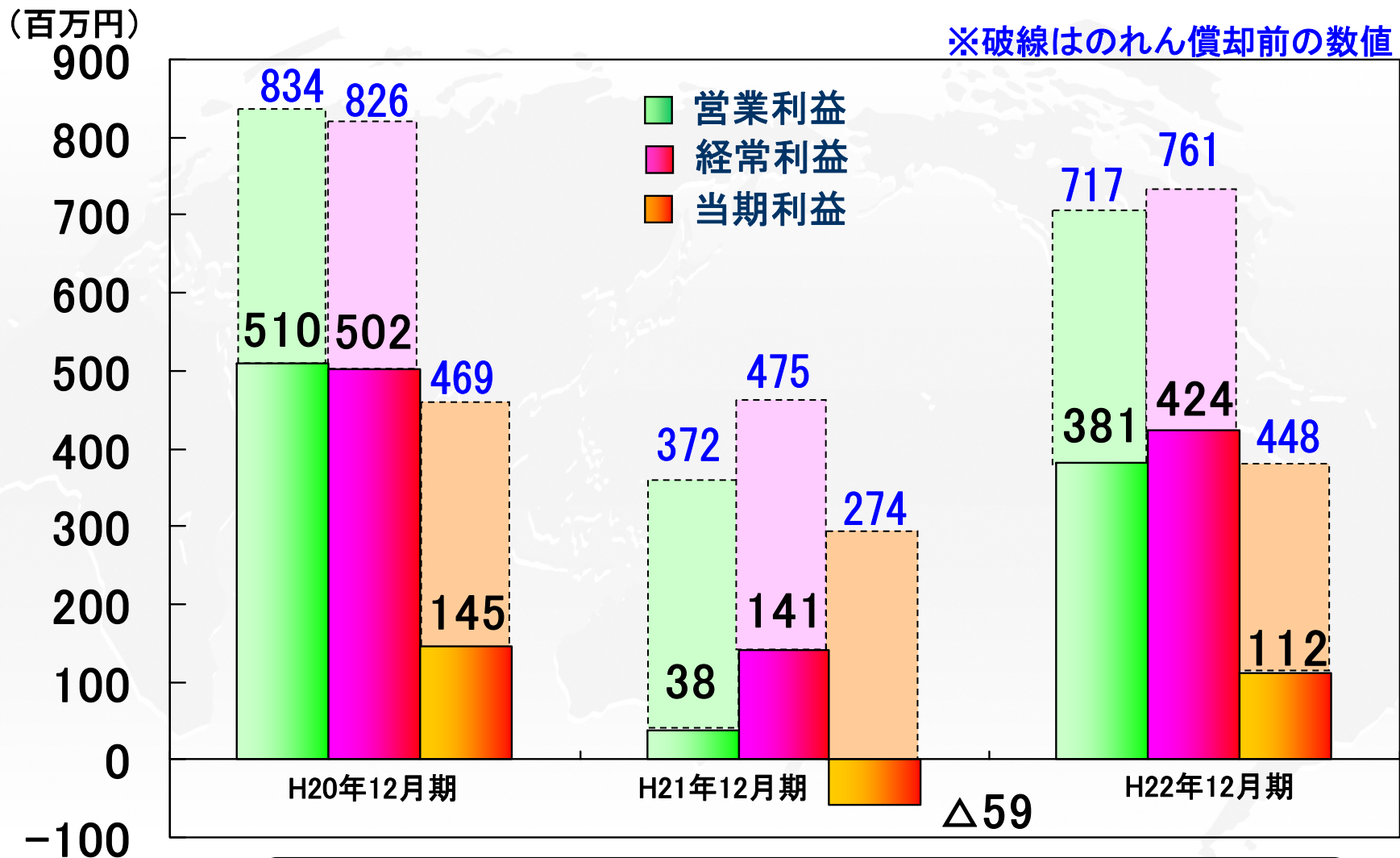
# 連結売上の事業別内訳

(百万円)



■ドキュメンテーション事業 ■エンジニアリング事業  
■技術システム開発事業 ■連結合計 カッコ内の数値は対前年比。

# 利益の推移



のれん償却費323百万円はH22年12月期にて終了。  
H23年のれん償却は17百万円。

# H22年12月期 単体決算の状況

(百万円)

	H21年12月期	H22年12月期	増減(対前年比)
売上高	2,283	2,660	376 (116.5%)
売上総利益	676	945	269 (139.8%)
営業利益	182	422	239 (231.8%)
経常利益	452	627	174 (138.7%)
税引後 当期純利益	359	443	84 (123.4%)



# 平成23年12月期 業績予想

---

# H23年12月期 連結業績予想

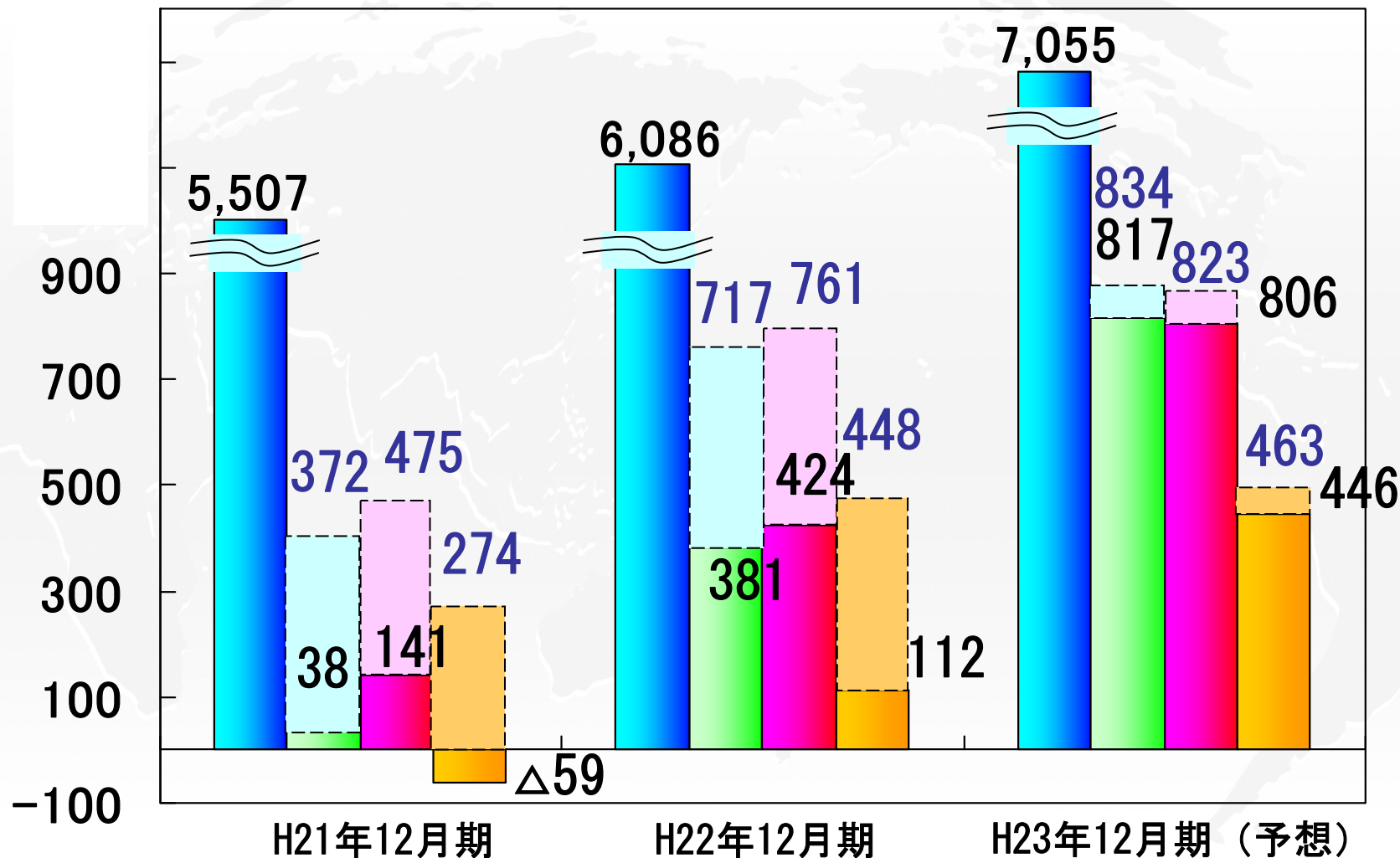
(百万円)

	H21年12月期	H22年12月期	H23年12月期 (予想)	増減 (対前年比)
売上高	5,507	6,086	7,055	969 (115.9%)
売上総利益	1,416	1,852	2,090	238 (112.8%)
営業利益	38 ※372	381 ※717	817 ※834	436 (214.7%)
経常利益	141 ※475	424 ※761	806 ※823	382 (189.9%)
税引後 当期純利益	-59 ※274	112 ※448	446 ※463	334 (398.3%)

※印は、のれん償却前の数値。H22年にてのれん償却（323百万円）は終了。  
H23年のれん償却は17百万円。

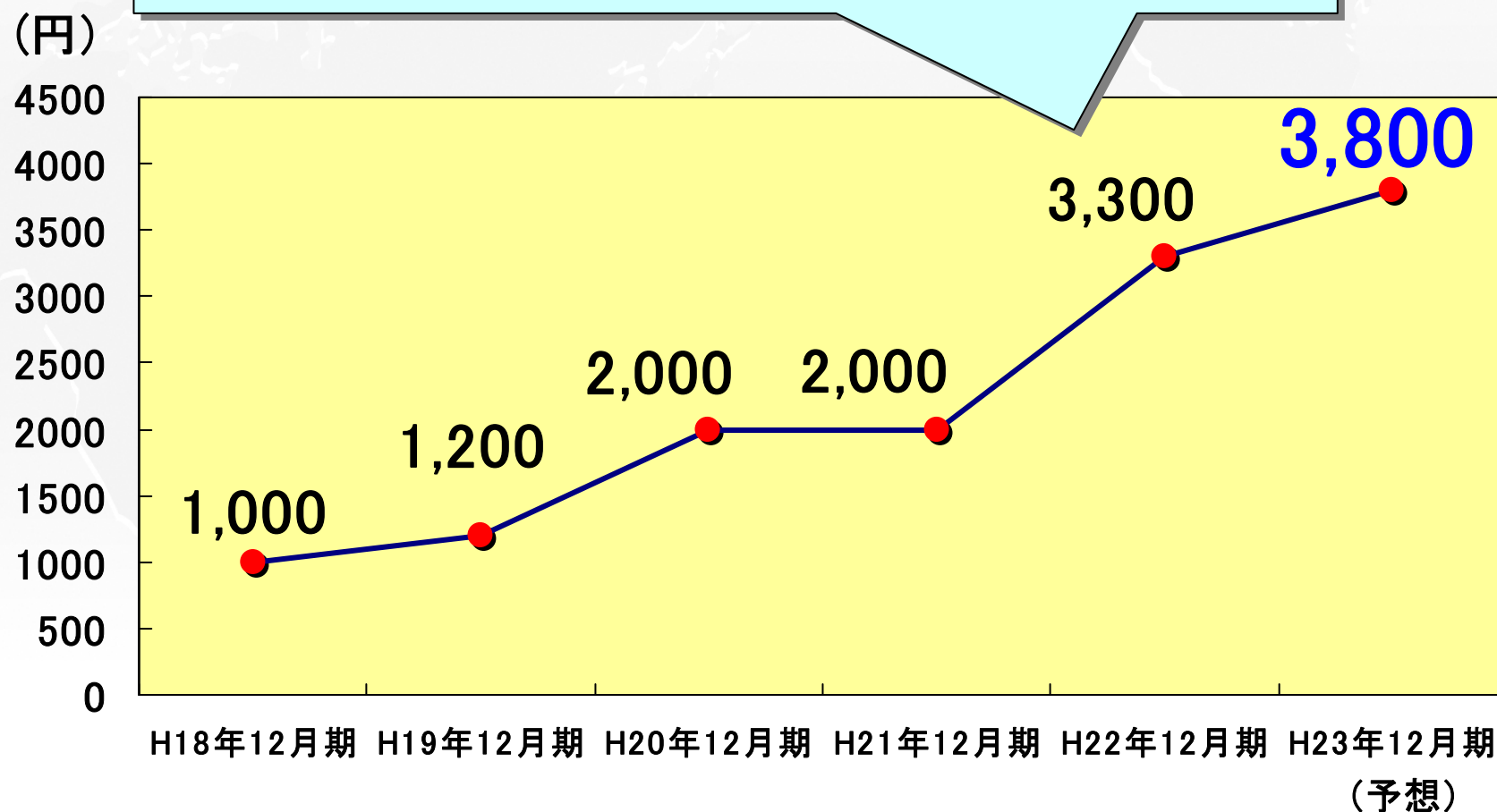
# H23年12月期 連結業績予想(グラフ)

(百万円)      ■ 売上高   ■ 営業利益   ■ 経常利益   ■ 当期利益



## 1株当たり配当金（年間）

2,000円 + 1,000円(増配) + 300円(記念配)



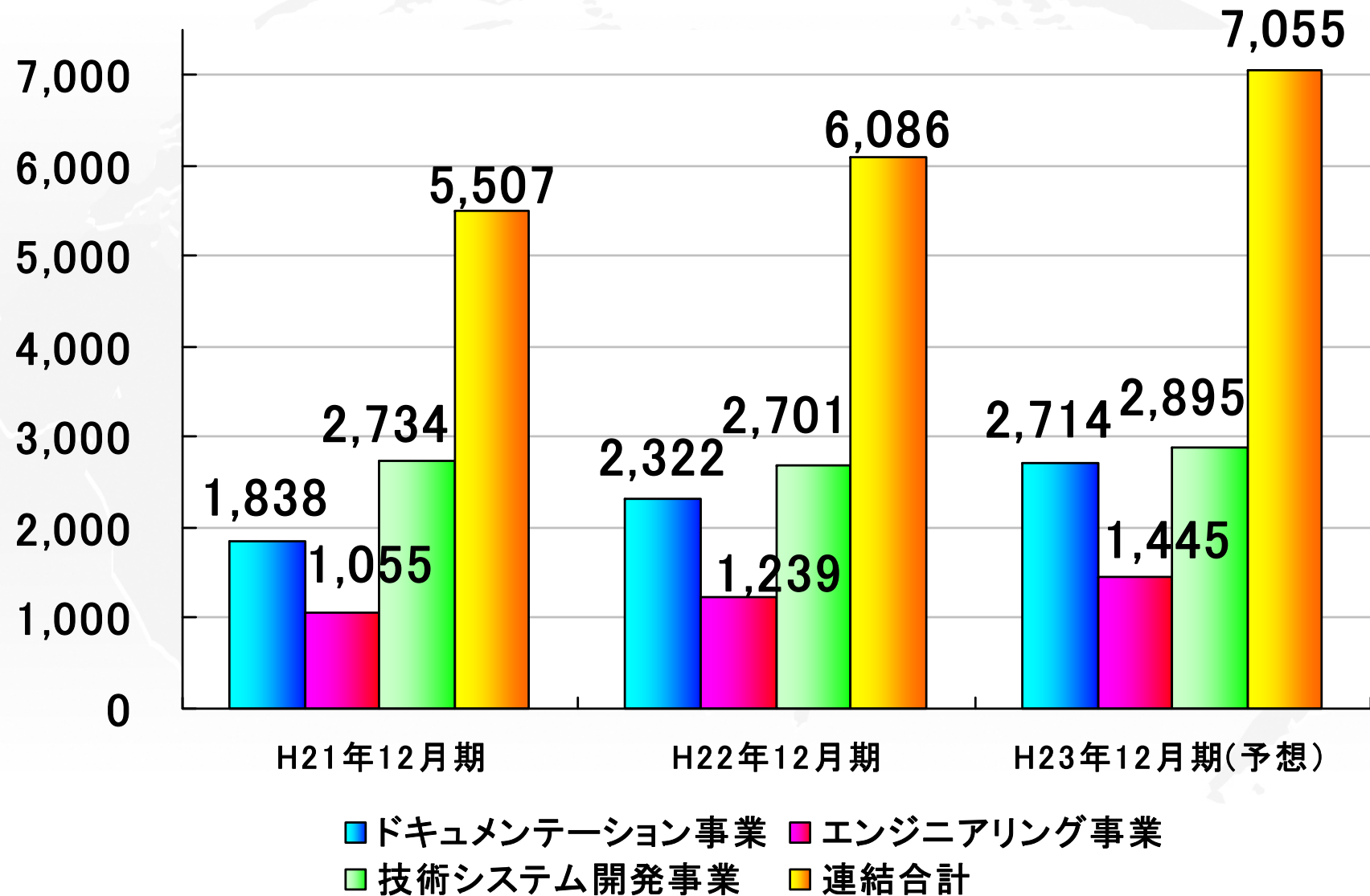


# 今後の展開

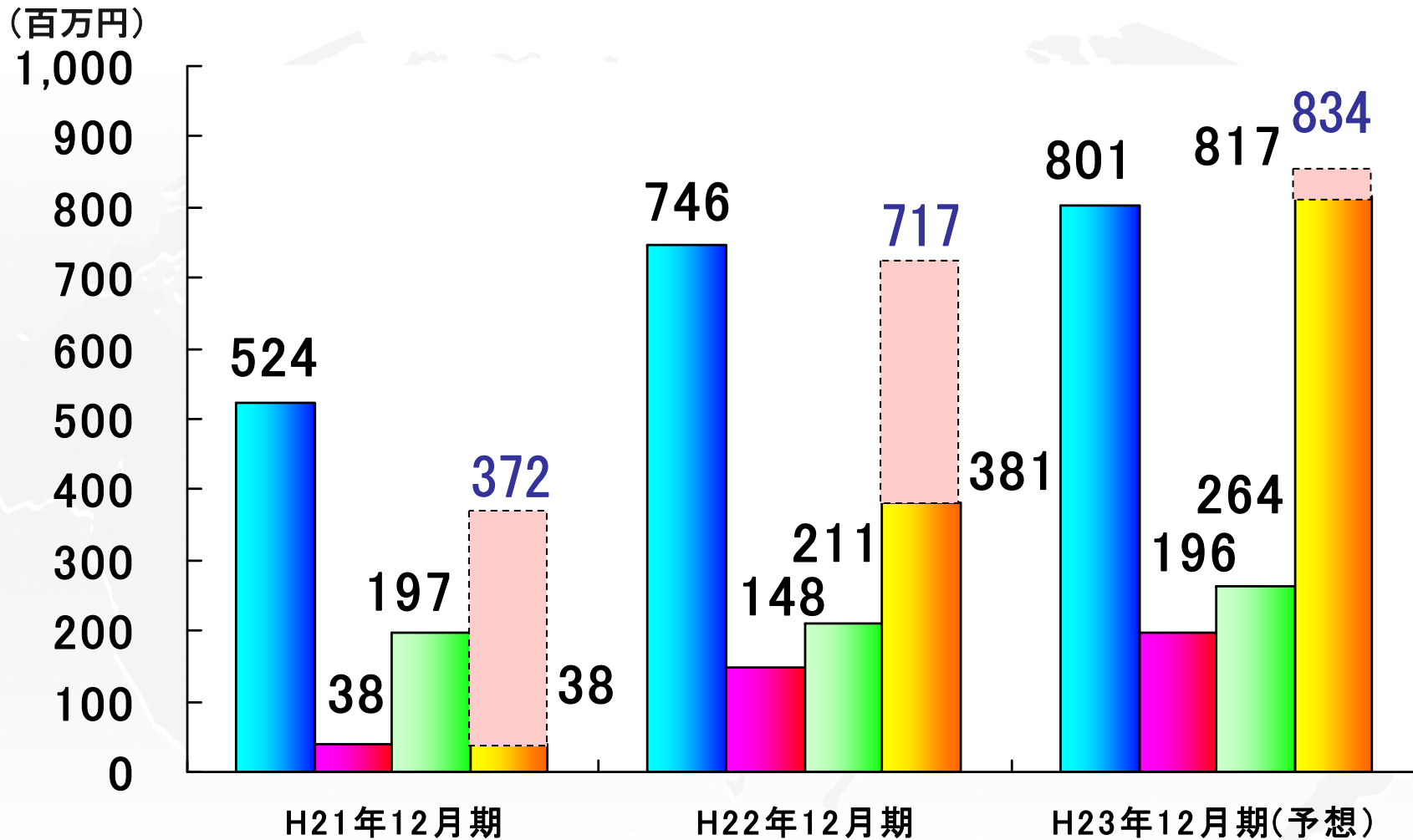
---

# H23年12月期 連結売上の事業別内訳

(百万円)



# H23年12月期 営業利益の事業別内訳



■ ドキュメンテーション事業    ■ エンジニアリング事業  
■ 技術システム開発事業    ■ 連結合計

※技術システム開発事業の営業利益、および破線はのれん償却前の数値。

# H23年度の重要課題

**CDS 売上高(連結)**

→ 対前年比**116%**

**ドキュメンテーション事業**

→ 対前年比**121%**

- ・ SB Traduction、東輪堂との連携による受注拡大
- ・ M&Aの推進

**エンジニアリング事業**

→ 対前年比**125%**

- ・ バイナスとのシナジーによる業務の拡大
- ・ ロボットシステムメーカーへの転換

**技術システム開発事業**

→ 対前年比**107%**

- ・ EV, PHEV開発関連業務の受注拡大

- H22年12月期にて、MCOR買収による「のれん償却 年323百万円」終了。  
H23年12月期のれん償却は17百万円。

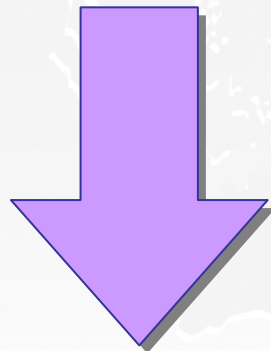
# ドキュメンテーション事業の拡大

**CDS**

ドキュメンテーション事業

**SB  
TRADUCTION**

**東 輪 堂**

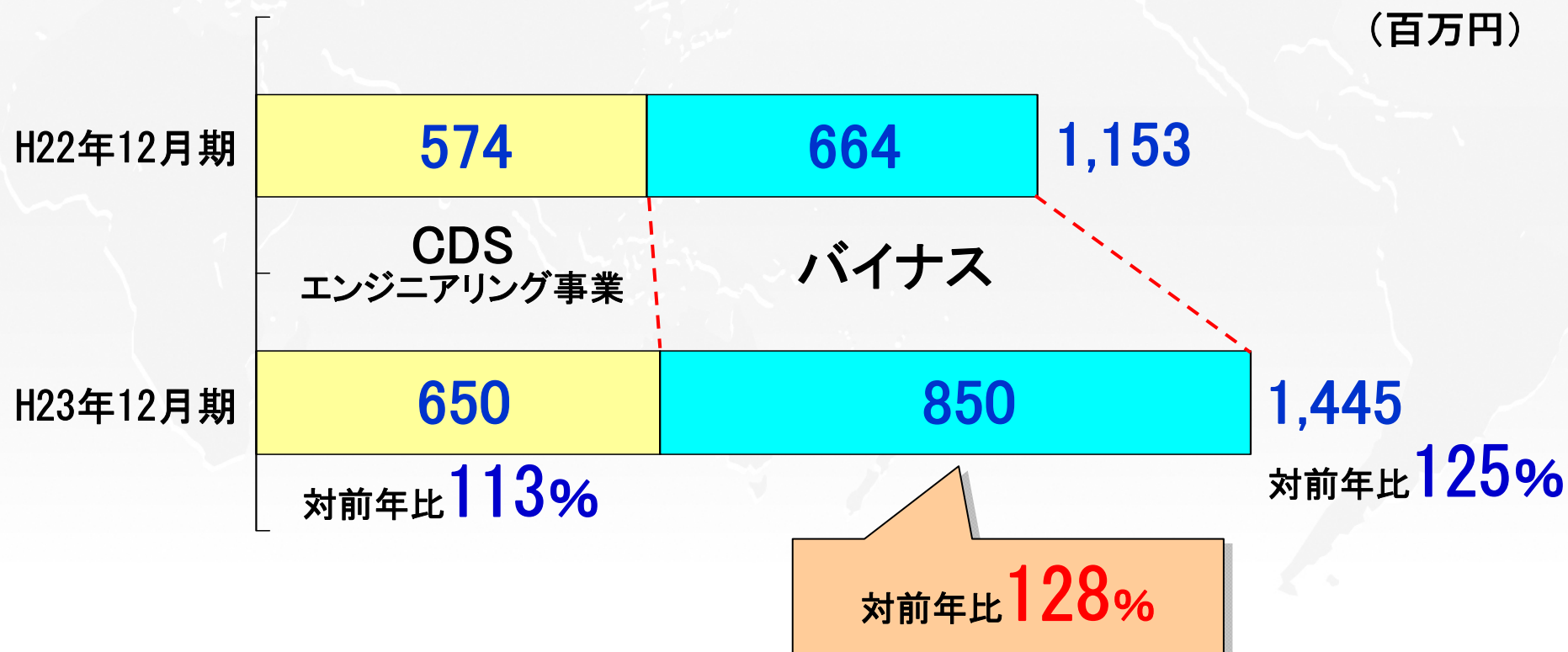


- ・技術力、ノウハウの共有
- ・M&Aによる事業の拡大

**事業領域の拡大、競争力の強化**

## バイナスを柱とする事業の再構築

### ロボットシステムメーカーへの転換



## バイナスの事業概要

### 民間事業

ロボット  
F Aシステム

### 派遣からロボットへ

- ・ F Aシステムメーカー

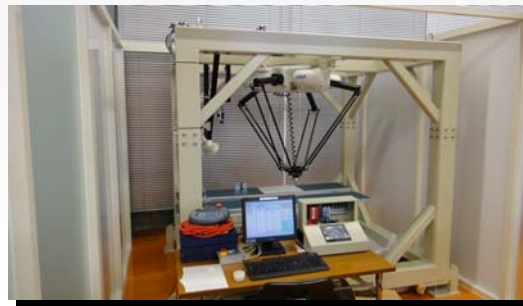
### 教育事業

ロボット技術  
F A技術  
加工技術

### 不況対策による受注増

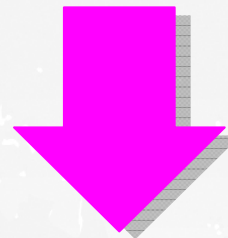
- ・ 工業高校、ポリテクセンターから  
大学・企業までのニーズ開拓
- ・ ロボット、F A教育

# ロボットラボセンター 新設



最適なロボット選定の事前検証、システム導入前の試験が可能に。

- ・新規顧客の開拓、拡大
- ・M&Aによる事業拡大
- ・FA・ロボットシステムメーカー

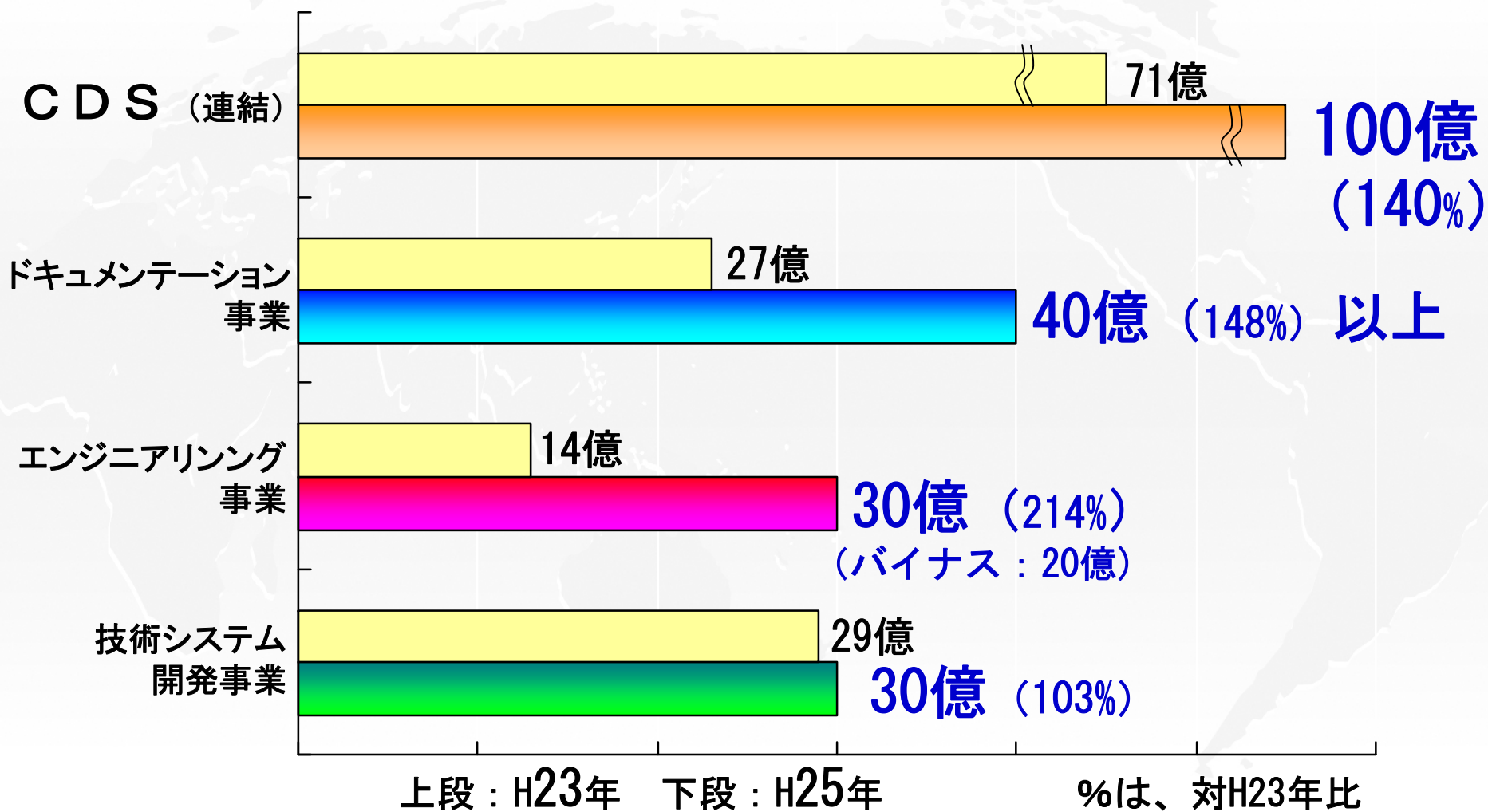


平成25年12月期

売上高目標 100億円

経常利益率 10%

# 事業別中期売上目標





本資料の中で、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報に基づき、当社グループで判断或いは仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や国内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と異なる可能性がある事を申し添えます。